

愛知県
家事調停

会報

65 2014. 1

セカンドライフ

名古屋 渡邊春樹

民間企業を定年退職後、調停委員をしています。民間企業退職者の「第二の人生」の過し方は様々ですが、私も参加している、生きがいつくり支援を実施している一つの団体をご紹介します。

日本セカンドライフ協会(通称:JASS)と言いますが、この協会は企業・団体等の定年退職者、いわゆるサラリーマン退職者の、生きがいつくりの各種活動に対する支援、相談および調査研究等を行い、退職者たちの社会参加の促進と、明るく活力ある長寿社会の実現に寄与することを目的として設立されました。退職後も様々なことに好奇心を持ち続け、生きがいのある第二の人生(セカンドライフ)を過ごすことを目指し、「もっと知りたい、愉快地遊ぶ、外に出る」をキーワードに、多数のイベントとサークルを提供しています。

JASSの組織は、平成2年に、多くの企業・団体の参加を得て発足し、現在、約100社の財政的な支援を受けています。個々のイベントとサークルの企画・運営は、多数のボランティア的な参画者で活動を活発に展開しています。

組織の基盤を確かなものとし、全国展開、公益サービスに資するため、厚生省(現在の厚労省)より社団法人の認可を受けて、平成4年2月、社団法人日本セカンドライフ協会(JAPAN ASSOCIATION OF SECOND-LIFE SERVICE)となり、現在に至っています(現在は一般社団法人)。

活動は、関東、中部、関西の3地区で行われています。私が参加している中部地区の2014年1-3月の活動計画は以下の内容です。

イベント(半日:各実費約1~6千円)では、

料理関係(フランス、オーストラリア、ドイツ、飛騨牛、はまぐり、ワイン、カクテル)、訪問(介護施設、史跡散策、七福神めぐり、核融合施設、セントレア空港、各国領事館)、講演(介護関係、詐欺対策、終活)、趣味(釣、音楽、切り絵、ゴルフ、ボウリング)等、21行事。

定例のサークル活動(毎月1、2回:毎回1~2千円)では、カラオケ、麻雀、川柳、絵画、愛唱会、囲碁、手品、写真、詩吟、書道、ダンスの11講座。これらの企画担当は会員の運営委員がやっています。どの行事も、会員参加は現在10~20名程度あり、参加者同士のコミュニケーション向上を狙っています。

過去に私の企画案で、「プラネタリウム見学とタイ料理ランチ」を実施しました。地下鉄伏見駅に10時集合、名古屋市科学館プラネタリウムを見学(団体見学は3か月前に要予約)。その後、近くの納屋橋のタイ料理店でランチを楽しみました。参加費用は食事込みで2600円(集合駅までの交通費は自己負担)、14時頃現地解散。参加者は15名位で、充実した半日だったと好評いただきました。

活動の強みとしては、企画担当者が異なるため、趣きの異なる色々の行事が企画提供されることです。そして会員が自由に選択できると言う楽しさがあります。参加費用も企画者の努力で、リーズナブルとの評価が高いようです。また、退職者同士の会員ということで、参加への安心感があり、楽しんで頂けます。会員ほとんどの方が65歳以上ですから、名古屋市在住の多くの方は「敬老パス」を利用して交通費のコストダウンもされています。

現在の問題点としては、登録されている会員が300名を超えているものの、参加者は、60名以下の同じ顔ぶれとなっています。また女性会員の参加もまだまだ少数です。隔月に開催される運営委員会(場所は、市政資料館)では、いつも、魅力ある行事づくり、参加者の増加、特に女性参加者の増加対策が議題に

なっています。会員の登録は、財政支援をされている企業・団体の退職者でなくても、個人として会員になれますので、広く募集する方法として、体験参加の勧誘なども、もっと進めていこうと努力しております。

定年退職すると、どうしても「出不精」の病気(?)にかかりやすくなります。私も、JASSの企画や運営のお手伝いをしつつ、会員として「もっと知りたい、愉快地遊ぶ、外に出る」を実践して、セカンドライフをより充実したものにしたいと願っております。

(わたなべ はるき)